



## コンケン競馬場の子供ジョッキーたち



けっこうしっかりした表彰が行われることも

# 世界旅打ち気分

●第33回・タイの地方競馬その2

# 須田鷹雄

写真のカラー版は  
<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>  
の  
#グリーンファーム会報#2021年3月号  
でご覧いただけます

<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>

続いて、最後に残ったコンケン競馬場。実はこのコンケン競馬場、数年前に廃止になってしまったようなのだ。はっきり廃止と確認できなければ、「」に入れたが、タイではそのさらに10年ほど前にロイエットという町の競馬も廃止になってしまっており、基本的に減つてしまふ方向ではある。

た」ともあるが、走ったあとに近所の池に人間を乗せたまま入つていて泳ぐ馬などもいた。独特的調教文化があるようだ。

最終レース終了後はトウクツウクやバイクタクシーが競馬場前にたくさんいるので、帰りの足に困ることはない。バノクに戻るときは「ボーボーソーガオ」(旧バスターミニナル)、そのまま「ハケンノヤウドンタ」などと移動するときは「ボーコーンマーイ」(新ターミナル)と告げる。ただ事前に都市間バスの時間と発着ターミナルは確認しておこう。

A black and white photograph capturing a woman standing behind a stall at what appears to be a night market or a food bazaar. She is positioned behind a counter covered with a white cloth, which holds several large metal trays filled with various types of dried and preserved seafood. The seafood includes whole fish, squid, and other shellfish, all arranged in a somewhat raw and preserved state. The woman is wearing a striped shirt and an apron, and she is looking directly at the camera with a neutral expression. In the background, the dimly lit environment of the market is visible, with other people and stalls in the distance. The lighting is dramatic, coming from overhead fixtures, which creates strong shadows and highlights the textures of the seafood.

本格的な飲食屋台が多数営業する  
開催日のコラート競馬場

前号に続いて、タイの地方競馬を紹介する。おさらいするとタイはバンコクにある2つの競馬場のうち1つが休止中（復活は厳しいかも）、地方競馬は筆者が訪問した時点では4場あった。そのうち前号で「エヌマイ」と「ウドンタニ」について紹介したので、今回は残りの2場だ。

まずは「コート」競馬場。基本的には土曜開催。「コート」はタイで3番目に人口が多い都市。正式名称を「コート・ラーチャシーマー

くものがあるが、いずれにしても  
これから競馬場へはトウクトウクに  
乗るのがよい。「コラート 競馬  
場」で画像検索した写真を見せる  
と話が早い。

「コラート 競馬場」は、筆者が  
「競馬場グルメ」が世界一充実して  
いる競馬場」と評価している競馬  
場だ。タイの競馬場はどこも食事  
が充実しているが、その中でもコラ  
ートは一番だろう。

そもそも競馬場グルメの概念が  
他の国とは違うといふか、屋台村

が多いタイの競馬にしては、小波乱くらうには望める。  
馬券は單複のほかに馬単（現地では2W-1Fと呼ぶ）がある。エ-タ-1にオッズも表示されていて、タイにしては進んでいるようだ。

「ラートはバンコクの北東にあります。バスで4時間強。本数はかなりある。バスによって旧バスターーミナルに着くものと新ターミナルに着ます。」

を通り越した食堂街のよつなものが開催日の競馬場内に出現してしまったという感じだ。鶏の丸焼きを満載しているお店などもあり、お持ち帰り需要もかなりあるものと思われる。

タイに行つてなにかローカルフードを食べてみたいがメニューを見ても判読できないという人は競馬場に行って指さしオーダーすれば解決だし、「ラートは特にありとあらゆるタイ料理が揃つているのでおすすめである。

レースのレベルも、タイの地方競馬としてはかなりまともだ。平均出走頭数も Chern Maiあたりと比べればそれなりに多いし、堅い決着をする

パドックは残念ながら無い。といふか、タイの競馬ではパドックを重んじる文化がなく、「フートも装鞍所から本馬場に入つてきて、お客様さんの前で一定時間常歩で歩く。」とかいふ間を周回しながらいとこう印が立てられるので、システム化されているのだろう。この常歩周回中に、そこから離れて騎手が乗つたまま調馬索(競馬用語でいうロンギ)で回される馬もある。競馬直前に調馬索で回す意味がよく分らないのだが、他の競馬場でも見たことがあるので、タイでは有効だと思われているのだろう。